**資料：神学校献金（神学生奨学金献金）推進の手引き　Ｑ＆Ａ集**

**単元１ 全国壮年会連合の活動について**

**Ｑ１：全国壮年会連合の構成メンバーはどのようになっていますか。**

Ａ１：日本バプテスト連盟（以下連盟）に加盟する教会とその伝道所（以下、「教会」と略す）の壮年会、兄弟会またはこれに類する集まりと個人（壮年層）をもって構成しています。

**Ｑ２：その目的は何ですか。また、いつ組織されて始まったのですか。**

Ａ２：各教会壮年会等が相互の啓発をはかり、交流親睦を深めると共に伝道活動を積極的に協力しあ　　　うことを目的としています。

1978年の第13回全国壮年大会で、「全国バプテスト壮年連合」が発足しました。

**Ｑ３：活動の基本方針は何ですか。**

Ａ３：**全国壮年会連合活動基本方針：伝道者養成の業への参与と教会形成を担う壮年**

全国壮年会連合は活動基本方針に則り、以下の働きを担っていきます。そして、これらの働きは、それぞれが立たされている教会での壮年一人ひとりの働きが最も重要であることを、共に認識することが前提となります。その上で、教会壮年会等の働きや、地方連合の壮年会の働きが問われます。全国壮年会連合はその働きを支え、助ける業を担っていきます。

　　　①牧会の場に出た牧師を支え、協働による主の栄光を表す教会つくり

・・・私たちは、牧師と共に教会形成を担う教会員として働きます。

②献身の決意を表す信徒を生み出す教会教育の出来る教会つくり

・・・私たちは、自身の献身も踏まえ、教会生活を通して教育された信徒を献身者として神学校へ送り出すために働きます。

③教会を挙げて神学生を支え育て、支援の出来る教会つくり

・・・私たちは、牧師と共に教会形成を担う教会員として、神学生の支援に積極的に関わります。

④学びのときの金銭的援助（奨学金・神学校献金・生活費等）に積極的に関わる教会つくり

・・・私たちが中心となり、教会全体の一致した業として神学生の学びを物心両面で支えます。

**Ｑ４：具体的な活動は何ですか。**

Ａ４：①伝道者養成に関わる事業のひとつである、西南学院大学神学部学生奨学金制度（連盟の制度）の奨学金のための財源として、「神学校献金（神学生奨学金献金）」を全国の諸教会に呼びかけ、その推進をしています。更に2012年の連盟定期総会において、西南学院大学神学部だけでなく、東京バプテスト神学校（専攻科）と九州バプテスト神学校（牧師コース）で、伝道者となるために学ぶ神学生にも用いられるよう、連盟理事会から「神学校献金使途拡充の件」として提案され議決されました。そのため、毎年６月には「神学校週間」として、神学生を覚えて祈り、神学校献金のおすすめをしています。また、神学校献金の推進のみではなく、２００１年４月から、連盟理事会からの委託により西南学院大学神学部学生奨学金制度の運営を担う活動も開始しました。奨学生の募集・選考そして奨学金貸与、返還事務を始め、壮年会連合の委員、連盟理事、西南学院大学神学部の専任教員からなる奨学金委員会での協議・活動が展開されています。

②全国壮年大会を年一回、各地方連合持ち回りで開催しています。その中で、活動計画、予算、神学校献金諸活動報告などを協議しています。また、研修会等を通して各壮年の交わりを深め、親しく教会活動のことを語り合い、賛美し、証する時としています。

③全国壮年会連合ニュースの発行（現在、年5回）

　内容・・・神学校献金・壮年会連合会費の入金状況と呼びかけ、各地方連合交流会・研修会報告、各教会壮年会等の働き、壮年の証、全国壮年大会の状況、西南学院大学神学部および連合立等神学校の神学生の近況報告など

④各地方連合壮年会（全国１３地区）において、交流・研修会を開催しています。

**Ｑ５：連盟加盟教会・伝道所の壮年の現在会員数と会費納入の状況はどのようになっているのですか。**

Ａ５：以下の状況です。納入人数を増やしていくことも課題のひとつです。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 度 | 壮年会員数 | 会費納入数（率） | 年 度 | 壮年会員数 | 会費納入数（率） |
| 1997年 | 3,982人 | 1,343人（33.7％） | 2006年 | 4,054人 | 1,630人（40.2％） |
| 1998年 | 3,861人 | 1,542人（39.9％） | 2007年 | 4,076人 | 1,771人 (43.4％） |
| 1999年 | 3,930人 | 1,547人（39.4％） | 2008年 | 4,115人 | 1,708人（41.5％） |
| 2000年 | 3,977人 | 1,652人（41.5％） | 2009年 | 4,176人 | 1,658人（39.7％） |
| 2001年 | 4,008人 | 1,561人（38.9％） | 2010年 | 4,248人 | 1,630人（38.3％） |
| 2002年 | 3,987人 | 1,553人（39.0％） | 2011年 | 4,280人 | 1,537人（35.9％） |
| 2003年 | 3,992人 | 1,608人（40.3％） | 2012年 | 4,256人 | 1,543人（36.2％） |
| 2004年 | 4,024人 | 1,596人（39.7％） | 2013年 | 4,150人 | 1,523人（36.7％） |
| 2005年 | 4,076人 | 1,671人（41.0％） |  |  |  |

　注）・各年度「地方連合壮年会等代表者会議」資料による。

・壮年会員数は、各教会から提出された前年度「教勢報告」の集計による。

**Ｑ６：規則･会則などはありますか。**

Ａ６：1978年5月4日より全国壮年会連合規約が制定され、その後、細則が作られました。その後、一部改定、追加などもありますが、この規約･細則に沿って、運営されています。

　　　（規約14条に、この規約は1977年8月19日より発効するとありますが、同年に「バプテスト全国壮年連合」の結成が決議され、翌年1978年5月4日に「全国バプテスト壮年連合」として正式に発足しました。）

　　　　詳しくは、全国壮年会連合のホームページで、どなたでも閲覧できます。

**Ｑ７：どうしたら加入できますか。**

Ａ７：連盟加盟の教会であれば、自動的に加入となります。

**Ｑ８：会費はいくらですか。**

Ａ８：2008年度から、一人年間1500円となりました。（参考：女性連合は一人年間2400円）

**Ｑ９：教会に壮年会（兄弟会等）がない場合には加入はどうなりますか。**

Ａ９：たとえ１人でも、全国壮年会連合会費（一人年間1500 円）を納入することにより、加入できます。

**Ｑ10：総会はどのようにして成立しますか。**

Ａ10：規約では各教会は３名の教会員を代議員として派遣することと定められています。総会の定足数は特に定めはなく、出席代議員をもって成立します。

**Ｑ11：全国壮年会連合の財政はどうなっていますか。**

Ａ11：基本的に全国壮年会連合会費（一人年間1500 円）によって運営されています。

**Ｑ12：全国壮年会連合の課題は何ですか。**

Ａ12：全国壮年大会の総会で参加者の総意により決めています。

①伝道者養成のスローガンのもと、「神学校献金(神学生奨学金献金)」の一層の推進を図りながら、会費納入者のさらなる増加を各教会に呼びかけています。

②各教会から、将来伝道者として献身する者が起こされるようにアピールし、祈ります。

③機関誌の発行（全国壮年会連合ニュースを年間５回発行、全国壮年会連合ホームページでも閲覧できます。）

④全国壮年大会参加者が３００～５００人集まるよう、さらなる充実を壮年一人ひとりの祈りと自覚をもって実現すべく推進します。

各教会の壮年会員と祈りを合わせて、上記の活動ができるよう広くＰＲをしていきます。各活動の原資となる壮年会費の納入に対しても訴えていきます。